

安心で快適な毎日の暮らしを足元で実感できる「床システム」。

近年、バリアフリーが定着し、段差のない床が当たり前になりました。しかし、フラットな床になっているにもかかわらず、つまづきによる転倒は依然として多いのが現実です。

フクビでは、床の上を移動する時のあらゆる動作に着目。“ユニバーサルデザイン”の視点で、高齢者にも子供にも、「優しい床」ととことん追求しました。毎日ふれる床だから、もっと心地よく、もっと安全に。その構造も質感も、すべて思いやり仕様です。



乾式遮音二重床システム

フリーフローアー SDDG[®] / シニアスタンダードシステム

しっかり支える。
スムーズに動ける。
シニアスタンダードシステム。
FUKUVI TOPICS



疲れにくさ
「立つ」ことの負担を軽減。
床に適度な弾性があることで、足への負担を少なくします。

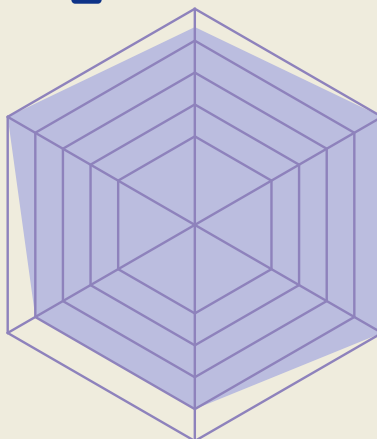
適度な歩行感
「歩く」動作をしっかりフォロー。
床の弾性により、歩行時に床側から足元を押し上げてくれるような作用があります。

キャスターや車椅子の直進走行性
車椅子の動きもスムーズ。
台車、ワゴン、ストレッチャーなどのキャスター類や車椅子などの走行性の良否を表す性能項目で、この性能が考慮されていない床の場合、キャスター類や車椅子を動かすときに、より大きな力が必要になり、操作する者の負担が増大します。



6 キャスター及び車椅子の直進走行性

1 歩行時のかたさ



2 転倒・衝突時のかたさ



3 発音性



足元の安定性
低下した歩行能力をサポート。
歩行時における足元の安定性を評価する性能項目で、歩行能力が低下し足元が不安定な高齢者が利用する床においてはより重要性が増し、特に考慮する必要がある性能項目です。

床振動
振動で周囲の状況を把握。
歩行など人の動作時に発生する床振動を評価する性能項目です。認知能力の低下がみられる高齢者にとって、床振動が有用に働く場合があり、例えば、歩行時における床振動により、人の気配を感じることができるなどの利点が考えられます。

発音性
適度な音が伝える距離感。
歩行時や足で床に踏み込んだ時の床の発音を、音の大きさから検討した性能項目です。目の不自由な方々にとって音は貴重な情報源であり、床から発する音を聞くことにより音源と自分との距離を認知できることが明らかになっています。

高齢者配慮
住宅性能表示制度



施工説明書